

建材製品中のアスベスト分析の現状と課題について

目次

- 自己紹介
 - これまでの実績
 - 建材中の石綿含有率の分析方法(JIS A 1481:2008)について
 - JIS A 1481:2008について
 - JIS法とEPA法の精度
 - JIS分析における定性定量分析について
 - 今後の課題
 - 石綿障害予防規則第3条第2項に基づく報告書について
 - リヒターとウィンチャイト
 - 無害化处理

JIS A 1481:2008と今までのJIS(2006年版)との違い

分析する石綿が3種類から6種類に

吹付けバーミキュライトが分析対象に

偏光顕微鏡による方法が削除

残渣率が0.15を超える試料についても定量可能

建材中の石綿含有率の分析方法

JIS A 1481:2008について 

■ 労安法, 石綿則において石綿の規制基準は0.1%(重量)

↓

0.1%の精度を有する分析方法としてJIS A 1481が制定

位相差顕微鏡分析と 線回折分析の結果から
石綿含有率を判定

JIS法とEPA法の精度について

	JIS法	EPA法
分析方法	位相差顕微鏡 及び 線回折分析	偏光顕微鏡
分析精度	0.1%	1%
定性	顕微鏡で 3000粒子中4繊維	個数%
定量	重量%	-

吹付け材の試料採取方法(3)

(厚生労働省委託事業の講習会より)

1試料につき3箇所から採取し、それぞれを密閉容器に入れる

表面だけでなく、奥まで貫通して採取

施工階ごとの採取が必要

1フロアの施工面積が3000m²以上の場合は600m²ごとに試料を採取

但し、一定の条件下で試料採取ポイントの絞込みが可能

今後の課題 石綿障害予防規則第3条第2項に基づく報告書について(2)

報告書形式統一の趣旨

分析業者ごとに異なっていた報告書の形式が統一され、第三者が見た時に比較が出来る

報告書を作成する為に必要なデータはJISによる分析を行わなければならない、分析方法がJISに限定される

今後の動向

- 厚生労働省の動き
- 国土交通省の動き

日本水処理工業株式会社

〒530-0046 大阪府大阪市北区菅原町8-14

TEL06-6363-6330 FAX06-6363-6372

品質管理者 営業部 アスベスト分析精度対策担当 脇谷 壮太郎